

地域の話題



豊科方面隊第8分団
子どもと一緒に火災予防運動

11/12
土

市消防団豊科方面隊第8分団は11月12日、子どもと共同火災予防運動を重柳詰所周辺で行いました。この活動は同分団が独自に行ったもので、区とのコミュニケーションを図り、連携を深めていくことがねらい。拍子木を打ちながら、団員と子どもたちが声の大きさを競い合ったり、バケツリレーの競争をするなど工夫を凝らした内容で、参加者は楽しみながらも真剣に取り組んでいました。お子さんと参加した小林征子さん(豊科重柳)は「子どもたちが消防団の活動を知る良い機会となったのでは」と話してくれました。



ふるさとCM大賞
堀金・明科が一次審査を通過

12/3
土

長野県内の市町村が、ふるさとの姿を30秒にまとめたCM作品で競い合う「ふるさとCM大賞」(長野朝日放送主催)で、旧堀金村と旧明科町が一次審査を通過しました。いずれも地域住民の有志によるもので、堀金は地域で活動するビデオクラブが、明科は地元の劇団がそれぞれ作品を手がけました。同大賞には県下から96作品が寄せられ、うち34作品が一次審査を通過しました。最終審査は12月3日に行われ、その模様は1月9日(月)に放映される予定です。



明科

地元の劇団「押野一座」が「安曇野・信州サーモン」と題して熱演を繰り上げました。

堀金

名物「凍りもち」が出来上がるまでを紹介。自慢のひまわり畑も登場します。



田園都市づくりに向けて
安曇野市誕生記念シンポジウム

11/26
土

「安曇野市誕生記念シンポジウム」が11月26日、穂高会館で行われました。この日は、平林伊三郎市長など5人のパネリストによる安曇野の自然や景観、田園都市づくりについての意見交換が行われました。このシンポジウムの模様は、12月25日(日)午後4時30分から長野放送で放映される予定です。



安曇野映画祭実行委員会
映像で市の歩みを記録

11/19
土

安曇野映画祭実行委員会は11月19日、映画祭の開催に合わせ熊井啓監督の歓迎会を開きました。折しも安曇野市誕生50日目のこの日、市の歩みを映像で記録していこうと同実行委員会が市関係者を集めての記念撮影を企画。熊井監督をはじめ、市となり最初に生まれた赤ちゃんや市民など約80人が集まり、市誕生50日目を笑顔で祝いました。



浅野博亮君
バレーボールで日本代表に

11/14
月

バレーボール全国中学生男子チームに選抜され、韓国との交流試合に出場する三郷中学校の浅野博亮君が、11月14日に市長を表敬訪問し、試合での健闘を誓いました。浅野君は、運動能力の高さ、特にレシーブ力が高く評価され、守備を専門とするリベロとして出場。「培ってきた力を出して全力でプレーしたい」と力強く決意を述べました。



異文化を楽しむ
2005国際交流フェスタ

11/13
日

外国籍住民の支援や国際交流を進めるボランティアグループ、Azumino ハートネットワークは11月13日、穂高会館で「2005国際交流フェスタ」を開催し、約200人が来場しました。国ごとに文化を紹介するブースでは、各国の名物料理などが並び、華やかな雰囲気の中、来場者は異文化を楽しみ、互いの理解を深めました。